

花巻ファーマー

花がつなが、就労と交流の場所へ

花工房さくらのビニールハウスに足を踏み入れると、シクラメンやプリムラのみずみずしく甘い香りが出迎えてくれました。同工房のシクラメンは、本市のふるさと納税返礼品となっているほか、市内外の販売施設でも人気の商品です。

花を育てるスタッフは、法人内のグループホーム利用者の皆さんと在宅利用者の皆さんです。「年間を通して100種類ほどの季節の花やハーブを、手播きで種から育てているんですよ」と教えてくれたのは、花工房さくらの職員・鈴木健さん。てきぱきと作業をこなすスタッフを見守る鈴木さんは「ここで育てられた花を通して、障がいのある人が頑張って就労していること



鈴木 健 さん(49歳)

●花工房さくら
【場所】石鳥谷町中寺林12-54-9 ルンビニー苑内
【問い合わせ】☎29-6635(専用携帯☎090-7330-7860)
【営業時間】午前9時～午後4時(正午～午後1時を除く)

を知ってほしい」と話します。

さらに、花工房さくらをもっと気軽に立ち寄れる場所にしたいという思いから、鈴木さん自ら販売ハウスの隣にウッドデッキスペースを整備。「コロナ禍でしばらく楽しめるイベントができませんでした。今年にはバーベキューを企画したいです。また、お花に囲まれながら、同じ就労事業所内にある菓子工房の出張カフェもできたらいいなと思っています」と希望を膨らませていました。



色鮮やかなシクラメン。スタッフが気持ちよく込めて育てています

賢治まのまちづくり

第107回

宮沢賢治 没後90年

昭和8(1933)年9月21日、賢治が37歳でこの世を去ってから今年で90年を迎えます。賢治が残した詩や童話作品は今もなお多くの人に親しまれていますが、改めて賢治に対する関心を高めたり、新たな魅力に気付いて理解を深めたりするきっかけとなるよう、市では宮沢賢治没後90年事業を展開する予定です。

その皮切りとなる事業が、映画「銀河鉄道の父」特別試写会です。映画は5月5日に全国公開されますが、それに先駆けて4月8日(土)に花巻市文化会館にて開催します。観覧を希望する人は、往復はがきにて応募を受け付けています(2月21日(火)必着)。詳しくは、広報はなまき2月1日号



▲羅須地人協会跡に立つ雨ニモマケズ詩碑。賢治の命日には献花が行われます

や市ホームページでご確認ください。そのほかの事業についても内容の詳細が決まりましたら、順次お知らせします。また、賢治に関連した活動を行っている団体の中には、没後90年に合わせた行事やイベントを計画する動きがあるようです。例年開催している行事の内容を工夫したり、今年に限ったイベントを企画したりするなどの広がりを見せています。団体それぞれの活動と市の事業との相乗効果によって、市民の皆さんが賢治に触れる契機となることを期待しています。



▲映画試写会について詳しくはこちら

【問い合わせ】
本館賢治まちづくり課
(☎41-3590)

The world and HANAMAKI
世界と花巻
vol.105

ラットランド市との姉妹都市提携35周年記念品

令和4年10月、令和3年度に姉妹都市提携35周年を迎えた国際姉妹都市米国バーモント州ラットランド市と記念品の交換が行われました。

ラットランド市からは、白樺をモチーフにした美しい絵画が贈られました。これは、バーモント州の州都モンペリエに在住の画家ケイティ・オールークさんによる作品で、バーモント州の景観から着想を得て描かれたものです。

本市からは、市内の「工房汽水」の若手漆職人佐々木春奈さんによる、宮沢賢治の世界観をイメージした深い藍色の漆塗りの大杯に、市内の「漆工房 地神」の熟練漆加飾士 高橋和典さんが「ラットランド市・花巻市姉妹都市提携三十五周年記念」と美しく文字入れをした記念品を贈りました。



①_ラットランド市から頂いた記念品
②③_本市からの記念品を手にするラットランド市教育委員会の皆さん(②の写真)とアレーア市長(③の写真)

ラットランド市からの記念品は、令和4年11月に好地振興センターで開催された好地地区民俗文化祭で展示されました。現在は、石鳥谷総合支所2階庁議室前廊下に、過去にラットランド市から贈られた絵画とともに展示されています。

自然豊かなバーモント州の美しさと、ラットランド市との友情を感じることができる作品をぜひご覧ください。

市内企業紹介

イリソ電子工業株式会社と企業立地協定を締結しました

令和4年12月26日、本市とイリソ電子工業株式会社(本社・神奈川県横浜市)が企業立地協定を締結しました。

同社は、電子基板や自動車向けのコネクタなどを製造。国内1カ所、海外5カ所の計6カ所自社工場を有する、国内有数のコネクタ製造企業です。電気やハイブリッド自動車への車載機器の需要拡大を見据え、主力製品のコネクタを量産するための金型の製造能力を強化するため、花巻第2工業団地内の用地取得を決定しました。

今回の整備では、敷地面積約1.66㍓、延床工場面積約1,800平方㍓の建屋に金型の製造工場を建設予定。11月には従業員25～30人程度の体制で操業を開始し、将来的には最大50人程度の雇用と建屋の増設も計画しています。

協定書に調印した鈴木仁代表取締役社長は「立地を機に市に貢献できるよう企業を

発展させていきたい」と意気込みを話していました。

また、同日は、同社と岩手県土地開発公社の土地売買契約も締結されました。



左から、畠山智禎岩手県土地開発公社理事長、鈴木仁代表取締役社長、上田市長、十良澤福志岩手県ものづくり自動車産業振興室長

【問い合わせ】本館商工労政課(☎41-3537)